

平成29年度 9月補正予算案等概要

I 総括

1 歳入歳出予算補正

(1) 補正規模		(単位:千円)		
	当初予算	現在予算	今回補正	補正後予算
一般会計	832,795,000	833,486,240	4,818,641	838,304,881
特別会計	755,230,649	755,230,649	2,107,110	757,337,759
企業会計	307,448,520	307,448,520	0	307,448,520
合 計	1,895,474,169	1,896,165,409	6,925,751	1,903,091,160

【参考】

今回補正における一般会計の主な財源内訳

○一般財源	・繰越金	160,427
○特定財源	・国庫支出金	1,989,061
	・県支出金	210,000
	・繰入金	816,153
	・市債	1,605,000

(2) 補正の概要 (単位:千円)

① 公共事業(国の内示等に伴う変更)	4,081,003
② その他	1,199,748
③ 市債管理特別会計	1,645,000
※他会計の補正に伴う市債収入金繰出金	

2 債務負担行為補正 (2件)	(単位:千円)
追加補正額	91,118

Ⅱ 内容

1 歳入歳出予算補正

① 公共事業(国の内示等に伴う変更) 4,081,003 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
街路整備事業 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近), 都市計画道路整備事業の増額	2,714,590	道路下水道局
河川整備事業 都市基盤河川改修事業(周船寺川, 金屑川等)の増額等	765,425	道路下水道局
港湾整備事業 住宅市街地総合整備事業, 国直轄工事費負担金の増額等	468,677	港湾空港局
海岸整備事業 西戸崎地区護岸改良の増額	9,200	港湾空港局
農業集落排水事業【集排特会】 農業集落排水処理施設(小田地区等)機器更新事業の増額	85,880	農林水産局
港湾整備事業【港湾特会】 中央ふ頭整備事業の増額等	37,231	港湾空港局

② その他 1,199,748 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
児童養護施設等ユニット化整備事業 家庭的養護の推進に係る補助事業の増額	63,114	こども未来局
公民館, 老人いこいの家整備事業 田村公民館, 田村老人いこいの家整備事業の追加	86,700	市民局 保健福祉局
住民票関連システム改修 国の制度変更(住民票等への旧姓併記)に伴うシステム改修	27,480	市民局
企業立地促進事業 立地交付金の増額	682,563	経済観光文化局
その他	339,891	各事業所管局

③ 市債管理特別会計 1,645,000 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
一般会計への市債収入金繰出金	1,605,000	財政局
特別会計への市債収入金繰出金	40,000	財政局

2 債務負担行為補正 (2件) 91,118 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
百道公民館等改築工事	80,142	市民局
百道老人いこいの家等改築工事	10,976	保健福祉局

Ⅲ 決算見込

平成28年度決算概要

<一般会計・特別会計>

(単位:千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計
最終予算額	845,876,976	835,927,121
歳入決算額(A)	800,357,337	801,567,538
歳出決算額(B)	786,965,770	797,020,713
形式収支額(C=A-B)	13,391,567	4,546,825
翌年度繰越財源(D)	3,940,132	229,008
実質収支額(E=C-D)	9,451,435	4,317,817
摘 要	【歳入過不足額】 Δ 17,187,602 【歳出不用額】 26,639,037	主な実質収支 国民健康保険事業 1,742,477 港湾整備事業 887,165 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 822,637 介護保険事業 773,352 後期高齢者医療 92,186

<企業会計>

(単位:千円)

区 分	収益の収支	資本の収支
モーターボート競走事業	収入 45,981,696 支出 44,295,319 差引 1,686,377	0 2,097,257 Δ 2,097,257
下水道事業	収入 57,600,139 支出 50,347,489 差引 7,252,650	35,881,676 58,521,979 Δ 22,640,303
水道事業	収入 38,224,279 支出 31,104,817 差引 7,119,462	6,503,690 21,505,550 Δ 15,001,860
工業用水道事業	収入 221,842 支出 176,681 差引 45,161	130,000 183,743 Δ 53,743
高速鉄道事業	収入 38,389,041 支出 32,925,115 差引 5,463,926	26,676,830 37,223,417 Δ 10,546,587
企業会計 計	収入 180,416,997 支出 158,849,421 差引 21,567,576	69,192,196 119,531,946 Δ 50,339,750

平成28年度企業会計利益の処分

(単位:千円)

区 分	当年度未処分 利益剰余金	利益剰余金処分額			翌年度繰越 利益剰余金
		(資本金)	(減債積立金)	(一般会計繰出金)	
モーターボート競走事業	6,818,394	-	-	1,300,000	5,518,394
下 水 道 事 業	11,117,502	4,700,000	6,417,502	-	-
水 道 事 業	10,300,110	5,686,508	4,613,602	-	-
工業用水道事業	381,623	25,391	27,046	-	329,186
高速鉄道事業	-	-	-	-	-
企業会計 計	28,617,629	10,411,899	11,058,150	1,300,000	5,847,580

平成28年度決算に基づく健全化判断比率等について

【福岡市の概要】

- 「健全化判断比率」は、いずれも早期健全化基準を下回る水準。
- 「実質公債費比率」は、これまでの健全な財政運営の取組などの結果、前年度から改善（▲0.2ポイント）。
- 「将来負担比率」は、これまでの健全な財政運営の取組などの結果、前年度から改善（▲9.7ポイント）。
- 「資金不足比率」について、赤字となった公営企業はない。

○ 健全化判断比率

比 率	本市	早期健全化 基 準	財政再生 基 準	説 明
実質赤字比率【フロー指標】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	— 黒字のため 比率なし	11.25%	20%	○実質収支額 <u>一般会計</u> 95億円の黒字 ※標準財政規模（H28年度） 3,604億円
連結実質赤字比率【フロー指標】 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	— 黒字のため 比率なし	16.25%	30%	○実質収支額 <u>全会計</u> 439億円の黒字 ・主なもの 一般会計 95億円 モーターボート 87億円 下水道 145億円 水道 85億円
実質公債費比率【フロー指標】 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3か年平均） $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{算入公債費等})}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	12.2%	25%	35%	○単年度比率の推移 26年度：12.0% 27年度：12.5% 28年度：12.1% 参考：平成27年度決算 実質公債費比率 12.4%
将来負担比率【ストック指標】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	152.7%	400%		○将来負担額の内容 <u>市債</u> 14,074億円 <u>債務負担</u> 193億円 <u>公営企業</u> 3,071億円 <u>一部事務組合等</u> 40億円 <u>退職手当</u> 607億円 <u>三セク等</u> 189億円 参考：平成27年度決算 将来負担比率 162.4%

○ 資金不足比率

比 率		本市	経営健全化 基 準	財政再生 基 準	説 明
資金不足比率 【フロー指標】 公営企業ごとの 資金の不足額の事 業規模に対する比 率	モーターボート競走	—	20%		
	下水道	—			
	水道	—			
	工業用水道	—			
	高速鉄道	—			
	集落排水	—			
	中央市場	—			
	港湾整備	—			
	市営渡船	—			

※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率については、黒字の場合「—」で表示します。

※ 標準財政規模とは、税収や普通交付税など各自治体に共通した標準的な収入のことで、自治体が通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる数値です。